

## 小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第5回）

### 意見要旨

平成28年3月18日（金）健康福祉事務センター 第3・4会議室

#### 参加者（団体）の近況等

##### 〈介護タクシー事業者〉

介護タクシーの認知度がまだ低いので、このような車両もあり利用することが出来るということを広めていきたい。病院に行けばベッドから車いす、ご自宅では車いすからベッドへと介助のお手伝いをする事が多いので、介護職員初任者研修を受講している。

##### 〈福祉バス〉

観光バス等の交通業界への世間の目が厳しくなっている。今年の1月に軽井沢で観光バスの大きな事故があり、報道を見る限りではずさんな運行管理体制であった。例えば、健康診断の未実施、対面点呼をしていない等、全部で33項目の違反行為があった。このようなことから、国からの規制が更に加わってくると思う。運送会社がどのように安全確保に努めていくかが課題と捉えている。

福祉バスおぞら号の件だが、予約がいっぱいになってしまいお客様を断っているケースもある。日程の関係でどうしても必要だというお客様もいると思うので、何か柔軟に対応できるようなことを今後提案していきたいと考えている。

##### 〈タクシー事業者〉

- (1) 車いすのまま利用できるユニバーサルデザインタクシー車両（以下、UD車両という。）を4台運用している。以前は2台だったが、一旦出払ってしまうと対応しきれないことがあるので倍の台数にした。まだ、一般のお客様に拒絶反応があるが、その理由を聴く訳もできない。UD車両についてはこれから少しずつ浸透していくと思うが、できれば皆様の力添えがあるとありがたい。
- (2) UD車両は1台で運用している。黒色でなく白色の車両を導入したが、この色に対して拒絶反応を示す方もいる。子どもからはかわいいという声がある。

### 〈福祉有償運送事業者〉

- (1) 軽乗用車2台とストレッチャー利用可能なキャラバン3台を所有し、会員の方の移送サービスを行っている。使用状況の6～7割は通院である。
- (2) 移送サービスのパンフレットについてはもう少し中身を工夫し、PRをして効果的に活用して欲しい。

### 〈利用者代表〉

- (1) 福祉タクシー利用券に記載されている事業者へ連絡し来てもらったところ、軽自動車を一回り大きくした小型車であった。何とか乗ることはできたが、事業者がどういう車を所有しているか、福祉タクシー利用券以外にA4サイズの資料が同封されていればいいと思う。

車いすの大型化が図られていて、大型車であるハイエースでも車いすが入らないケースもあった。情報を提示したいと思うが、情報提示した後に車両の保管状況が変わってしまうことや、実際に車いす等を見てみないと分からない部分もある。今後、他自治体で分かりやすい資料があれば参考にして、少しずつでも見やすいものを作成していきたい。(障がい者支援課)

- (2) UD車両に拒否反応を示す人がいるという話があったが、私は逆で、生活不自由なため手摺りがあり背が高いと大変便利である。

コミュニティタクシーの栄ルートが、東大和新堀局まで回ってくれるようになりありがたい。しかし、東大和市のコミュニティバスとの連絡が30分以上空くので、その連絡が上手く取れればいいと思う。銀河バスも新小平駅までしか行かないので不便である。将来的には、昭和病院まで行くルートが出来れば便利である。栄町ルートの件でもう1点、小川駅入口からが始発となるが、停留所が夏には蚊が多く発生し困っている。

コミュニティタクシーは18時で終了、土日の運行がないのが非常に不便に感じている。